

ネットワークコミュニケーション
第13回：まとめ

2006年秋季期
担当：加藤文俊
012207

ネットワークコミュニケーションを理解する

2 | 18

- 分析手法
- ナチュラルヒストリー：A natural history approach (McQuown, 1971)
 - 実験室におけるコミュニケーション
 - Naturally-controlled experiment
 - 環境は制限されているが、コミュニケーション過程は自然 (natural) に観察可能。

keio university fklab

分析手法

3 | 18

- 個別具体的なケースから、普遍抽象的な言明を導き出す
- ミクロ-マクロのリンク
- マイクロアナリシス：
 - An interpretive microanalytic approach (Mokros, 1995, 1996, 2002)
- 方法論的関心 (methodological orientation)
- 理論的動機 (theoretical motivation)
- テーマ

keio university fklab

- あたえられた状況で「的確に」ふるまうための知識や技能は、徐々に行動パターンとして体得され、暗黙の前提になる。
- 実践的な場面では、自発的・無意識的（自動的）にふるまうようになる。
- メディアを介したコミュニケーション行動についても、おなじような「暗黙知」化がすすむ。

- constitutive view of communication (Mokros, 1995, 1996)
 - 構成主義的観点
 - 「問題提起型」コミュニケーション観
 - ひとつの社会的な状況 (social situation) [としてのSNS] は、コミュニケーションをつうじて (のみ) 構成される。

- (構造化された) 記述：相互作用の“マップ”を作成する。
- “マップ”の分析：コミュニケーションのプロセスの特質を理解する。
- 解釈・意味づけ：相互作用における“特異な状況 (critical moments)”を同定する。

人は〈場所〉に
文化的社会的意味を授ける

7|18

- D. Harvey 「空間から場所へ、そして再び元へ」 (1991; *From space to place, and back again*)
- 物質的、表現的、象徴的な活動を通じた、場所を構築する政治学がある。そして、これらの活動は、個人一人一人が場所に対して、時間や労力を費やし、結果としてコミュニティとしての権限を獲得できるようなものでなければならない。

keio university fklab

マイクロ

8|18

- 会話の「はじまり」(opening)の問題
- アイデンティティ・マーカ
- コントロールの問題
 - 〈場〉を仕切る/〈空気〉を読む

keio university fklab

研究領域 (1)

9|18

- ネットワークという概念
 - 定義・研究方法
 - 組織論
 - 社会論
- ネットワークと心理
 - 社会心理学的アプローチ
 - 意識の変容
 - 自己の問題

keio university fklab

研究領域 (2)

10|18

- **メディアと生活**
 - 若者論 (ターゲットとしての意味/データ収集の問題)
 - 電話
 - ゲーム
 - ポケベル
 - ケータイ
 - 掲示板/ブログ/SNS
- **コミュニティ**
 - 電子コミュニティ
 - あたらしい価値観
 - “シェア” の思想/あたらしいマーケット

keio university fklab

研究領域 (3)

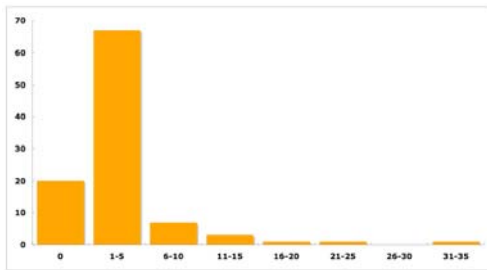
11|18

- **さまざまな活動のためのネットワーク**
 - 市民運動
 - ボランティア
 - 宗教
- **人間関係**
 - 出会い・恋愛
 - 世代論
 - アイデンティティ
 - 病理
 - トラブル (犯罪・規制の問題)
 - メールカウンセリング*

keio university fklab

友だちの数

12|18

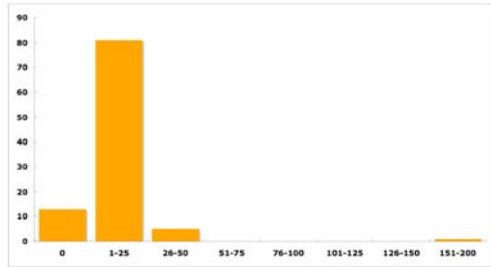


最多 34人：最少 0人：平均 3.2人 (2007年1月21日現在)

keio university fklab

日記記事数

13|18

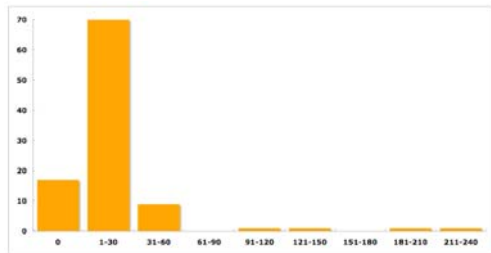


総記事数 861件：最多 181件；平均 8.6件（2007年1月21日現在）

keio university fklab

日記コメント数

14|18



総コメント数 1717件：最多 226件（2007年1月21日現在）

keio university fklab

その他

15|18

- 最初に書かれた日記
09/29 00:07 モモイさまの憂鬱
- コメントがたくさんついた記事
10/27 15:49 日本でハロウィンがはやらない理由 21
11/07 14:30 ペンネームに関する一考察 21
12/12 00:09 フリーザ様に学ぶフリーター問題 19

keio university fklab

グループ（コミュニティ）

16|18

- グループ数 35
- ひとりあたりの所属グループ数 3.2
- トピック数 160
- メンバーがたくさんいるグループ（コミュニティ）
 1. no music, no life 27
 2. ネコミで友達を作る会 24
 3. 就活2008 18

keio university fklab

このあと...

17|18

- なんとなく、不完全燃焼のまま、いちおう終わりますが、
 - あまがちゃんからのコメント
 - ふりかえり集
 - サイトが消える日などは、実現させます。
- 最終レポートがあります。

keio university fklab

最終レポートについて

18|18

- 今学期の「ネコミ」での体験をふまえて、ネットワークコミュニケーションにおける「印象操作（インプレッション・マネジメント）」をどう考えるか、を論じる。
 - 個人的な体験、エピソードを書く
 - 「ありがちな」内容は不合格※
 - 公開されることを前提に書く
- 1200～1400字
- レポートシステムで提出
- 2007年2月1日（木）23:55厳守

keio university fklab
